

Ⅲ 人的・物の被害想定

1. 被害想定の設定条件

1.1 被害想定に用いる地震・津波のケースの選定

被害想定の対象とする地震は、海溝型の「南海トラフの最大クラス地震」と「南海トラフの発生頻度の高い地震」の2ケースと、直下型の「中央構造線で発生する地震」と「長尾断層で発生する地震」の2ケースを選定した。

被害想定予測では、香川県内の各市町に対して被害が最大となる組み合わせを採用することにした。被害が最大になる組み合わせとは、各地震断層と津波波源のケースに対して、地盤の揺れと津波浸水域から暴露人口を算出し、その大小により決定した。

1.2 被害想定項目

被害想定項目は、以下に示すように、建物被害、屋外転倒・落下物の発生、人的被害、ライフライン被害、交通施設被害、生活への影響、災害廃棄物、及びその他の被害とした。

表 1.2.1 被害想定予測項目と手法（その1）

予測項目		予測手法	評価項目
建物被害	揺れによる被害	計測震度－被害率曲線（構造、建築年代別）により被害を予測	全壊棟数
	液状化による被害	地盤沈下量－被害率曲線（構造、建築年代別）により被害を予測	全壊棟数
	津波による被害	津波浸水深－被害率曲線（構造、建築年代別）により被害を予測	全壊棟数
	急傾斜地崩壊による被害	耐震性危険度ランクと崩壊確率等から被害を予測	全壊棟数
	地震火災による被害	震度階から出火件数を予測し、消防運用等を考慮し、シミュレーション解析から延焼エリアを予測	延焼棟数
人的被害	建物倒壊による人的被害	全壊棟数－死者数の関係、全壊・半壊棟数－負傷者の関係から被害を予測	死者・負傷者
	津波による人的被害	津波避難未完了者の最大浸水深に対する死者率から被害を予測	死者、負傷者
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地の被害棟数－死者・負傷者・重傷者数との関係式により被害を予測	死者・負傷者
	火災による人的被害	出火建物からの逃げ遅れ、閉じこめ、逃げまどい人口と死者数との関係式から被害を予測	死者・負傷者
	ブロック塀等の転倒による人的被害	塀転倒件数に対する被害を予測	死者・負傷者
	自動販売機の転倒による人的被害	自動販売機転倒件数に対する被害を予測	死者・負傷者
	屋外落下物による被害	屋外落下物が予想される建物から被害を予測	死者・負傷者
	屋内収容物移動・転倒による人的被害	建物の被害に対して震度別の被害を予測	死者・負傷者
	屋内落下物による人的被害	建物の被害に対して震度別の被害を予測	死者・負傷者
	揺れによる建物被害に伴う要救助者（自力脱出困難者）	建物全壊率と救助が必要となる自力脱出困難者数から被害を予測	自力脱出困難者数

表 1.2.1 被害想定予測項目と手法（その2）

予測項目		予測手法	評価項目
人的被害	津波被害に伴う要救助者・要搜索者	津波の最大浸水深より高い階の滞留人口を要救助者として予測	要救助者
ライフライン	上水道	管種・管径別の地表加速度と被害率の関係式より被害箇所を予測 浄水場の地震動被害、津波浸水等から機能停止影響を予測 発災直後からの経過日数別の断水人口を復旧状況から予測	被害箇所数 経過日数別の断水人口
	下水道	管種・管径別の震度階と被害率より被害箇所を予測 処理場の地震動被害、津波浸水等による機能停止影響エリアから予測 発災直後からの経過日数別の機能支障人口を復旧状況から予測	被害箇所数 経過日数別の機能支障人口
	電力	津波浸水被害、火災延焼・建物全壊による電柱折損・地中線用設備被害等から被害を予測 発災直後からの経過日数別の停電軒数を復旧状況から予測	経過日数別の停電軒数
	通信 (固定電話・携帯電話)	火災延焼による被害、揺れによる電柱折損から不通回線数を予測 発災直後からの経過日数別の不通回線数を停電・電柱の復旧状況から予測	経過日数別の不通回線数
		携帯電話基地局の被害、基地局の被害等から停波基地局率、不通ランクを予測	停波基地局率 携帯電話不通 ランク
都市ガス	計測震度等から機能停止影響エリアを求め被害を予測 発災直後からの経過日数別の供給停止戸数を復旧状況から予測	経過日数別のガス供給停止戸数	
交通施設	道路	震度別や津波浸水域等から被害率を定めて被害箇所数を予測	被害箇所
	鉄道	震度別や津波浸水域別等から被害率を定めて被害箇所数を予測	被害箇所
	港湾	基礎に作用する加速度と被害率の関係より被害を予測	港湾施設被害
生活への影響	避難者	地震発生直後、1週間後、1ヶ月の避難者数を予測	避難者数
災害廃棄物等	災害廃棄物等	建物の全壊・焼失等による災害廃棄物と、津波による堆積物の発生量を予測	発生量
その他の被害	エレベータの停止	地震の揺れ・停電に伴いエレベータが停止する建物棟数を予測	停止棟数
	危険物施設	揺れによる影響として、危険物の火災・流出・破損箇所数を予測	被害箇所数
直接経済被害	建物被害	建物被害数量と原単位から建物の直接被害額を算出	直接経済被害
	ライフライン被害	ライフライン被害数量と原単位からライフラインの直接被害額を算出	
	交通施設等の被害	交通施設等の被害数量と原単位から交通施設の直接被害額を算出	

1.3 被害想定の時間帯

被害想定時間帯は、冬深夜、夏12時、冬18時とした。

表 1.3.1 被害想定算出の季節・時間帯

時間帯	設定理由
冬深夜	多くが自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高く、また津波からの避難が遅れることにもなる。 オフィスや繁華街の滞留者や、鉄道・道路利用者が少ない。
夏12時	オフィス、繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災するケースが多い。 木造建物内滞留人口は、1日の中で少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者数は冬深夜と比較して少ない。
冬18時	住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。 オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。 鉄道、道路もほぼ帰宅ラッシュに近い状況でもあり、交通被害による人的被害や交通機能支障による影響が大きい。

2. 被害想定

2.1 定量評価結果一覧

各想定地震が発生すると、揺れによる建物倒壊、死者数に甚大な影響を及ぼす結果となった。また、避難者数は、建物倒壊、津波浸水、断水人口が影響し、地震発生直後より1カ月後に、南海トラフ(L2)では23万人、南海トラフ(L1)では2万人、中央構造線では7万人、長尾断層では5千人にのぼる結果となった。

以下に本調査で算出した被害想定結果の概要を示す。

(1) 全県の一覧表

表 2.1.1 被害一覧(香川県全体)

項目	条件・定義	単位	想定地震				
			南海トラフ(L2)	南海トラフ(L1)	中央構造線	長尾断層	
1 建物被害(全壊)	1 揺れによる被害	棟	25,000	410	21,000	660	
	2 液状化による被害	棟	2,500	1,900	3,000	1,300	
	3 津波による被害	棟	2,000	40	-	-	
	4 急傾斜地崩壊による被害	棟	220	*	110	20	
	5 地震火災による被害	棟	5,700	*	5,700	*	
2 人的被害(死者数)	建物倒壊による被害	人	1,600	20	1,300	40	
	1 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による被害(建物倒壊による被害の内数)	人	140	*	130	*	
	2 津波による被害	人	4,600	20	-	-	
	3 急傾斜地崩壊による被害	人	*	*	*	*	
	4 火災による被害	人	40	*	40	*	
	5 ブロック塀・自動販売機・屋外落下物による被害	人	*	*	*	*	
	2 人的被害(負傷者数)	建物倒壊による被害	人	16,000	1,200	12,000	1,300
		1 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による被害(建物倒壊による被害の内数)	人	2,300	30	1,900	40
		2 津波による被害	人	3,100	20	-	-
		3 急傾斜地崩壊による被害	人	*	*	*	*
4 火災による被害		人	20	*	20	*	
5 ブロック塀・自動販売機・屋外落下物による被害	人	*	*	*	*		
2 人的被害(自力脱出困難者・要救助者)	1 揺れによる建物被害に伴う要救助者(自力脱出困難者)	人	5,400	90	4,400	160	
	2 津波被害に伴う要救助者	人	400	10	-	-	
3 ライフライン被害	1 上水道	断水人口	763,000	226,000	622,000	205,000	
	2 下水道	支障人口	141,000	11,000	30,000	12,000	
	3 電力	停電軒数	587,000	88,000	486,000	153,000	
	4 通信(固定電話・携帯電話)	不通回線数	190,000	30,000	187,000	51,000	
	5 都市ガス	供給停止戸数	58,000	13,000	69,000	29,000	
4 交通施設被害	1 道路(緊急輸送道路)	被害箇所	690	380	540	300	
	2 鉄道	被害箇所	510	240	450	190	
	3 港湾(防災機能強化港)	港湾被害箇所	100	*	10	*	
5 生活への影響	1 避難者(発災直後)	避難所内	人	119,000	35,000	27,000	2,400
		避難所外	人	80,000	24,000	18,000	1,600
		避難所内	人	95,000	7,100	45,000	4,000
		避難所外	人	37,000	4,800	45,000	4,000
6 災害廃棄物	1 災害廃棄物等	災害廃棄物	トン	1,851,000	47,000	968,000	44,000
		津波堆積物(2.5cm)	トン	2,473,000	427,000	-	-
7 その他の被害(定量的評価)	1 エレベータの停止	津波堆積物(4cm)	トン	3,956,000	684,000	-	-
		停止数	棟数	1,200	1,200	1,200	1,200
		火災	箇所	*	-	*	*
8 耐震前直接経済被害額	1 直接経済被害額合計	流出	箇所	10	*	10	*
		破損等	箇所	110	60	100	50
		冬18時	億円	34,000	3,600	21,300	3,700

注:「-」はデータ無しまたは公表なし、「*」は少ないが被害がある、四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある

(2) 市町別一覧表

1) 南海トラフの最大クラスの地震

震度 6 弱～7 の強い揺れ、沿岸域に広範的な津波の浸水を受けるため、建物倒壊、人的被害、避難者等、被害を受ける規模が大きく、また県内全域に及んでいる。

表 2.1.2 被害一覧（市町別）（1/4）

市町別	建物被害（全壊）					人的被害（死者数）					
	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	地震火災	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等
高松市	4,500	850	380	40	390	270	40	910	*	*	*
丸亀市	1,400	100	140	10	*	90	10	1,000	*	*	*
坂出市	950	380	180	10	*	60	10	230	*	*	*
善通寺市	580	10	-	*	*	40	*	-	*	*	*
観音寺市	5,100	160	200	20	2,200	320	20	450	*	20	*
さぬき市	1,000	290	470	20	240	60	10	1,100	*	*	*
東かがわ市	3,300	130	40	10	1,000	220	10	390	*	10	*
三豊市	4,800	170	400	60	1,100	310	20	310	*	10	*
土庄町	280	100	20	10	*	20	*	40	*	*	*
小豆島町	620	110	90	20	200	40	*	50	*	*	*
三木町	160	70	-	*	*	10	*	-	*	*	*
直島町	20	20	*	*	*	*	*	30	*	*	*
宇多津町	180	60	10	*	*	10	*	30	*	*	*
綾川町	120	10	-	*	*	10	*	-	*	*	*
琴平町	180	*	-	*	*	10	*	-	*	*	*
多度津町	1,200	30	20	10	630	80	*	90	*	*	*
まんのう町	290	*	-	*	*	20	*	-	*	*	*
香川県	25,000	2,500	2,000	220	5,700	1,600	140	4,600	*	40	*

表 2.1.3 被害一覧（市町別）（2/4）

市町別	人的被害（負傷者数）						人的被害（自力脱出困難者・要救助者）	
	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	揺れに伴う自力脱出困難者	津波による要救助者
高松市	4,200	580	400	*	*	*	1,300	250
丸亀市	1,300	190	820	*	*	*	370	30
坂出市	790	110	50	*	*	*	230	50
善通寺市	580	70	-	*	*	*	130	-
観音寺市	2,100	290	400	*	10	*	1,100	20
さぬき市	820	110	340	*	*	*	220	30
東かがわ市	1,200	180	780	*	10	*	710	*
三豊市	2,400	350	*	*	*	*	810	10
土庄町	290	50	*	*	*	*	40	*
小豆島町	430	50	*	*	*	*	100	10
三木町	240	60	-	*	*	*	40	-
直島町	30	20	120	*	*	*	*	*
宇多津町	150	30	80	*	*	*	70	10
綾川町	210	60	-	*	*	*	20	-
琴平町	190	30	-	*	*	*	30	-
多度津町	680	100	110	*	*	*	250	*
まんのう町	340	50	-	*	*	*	50	-
香川県	16,000	2,300	3,100	*	20	*	5,400	400

注：「-」はデータ無しまたは公表なし、「*」は少ないが被害がある、四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある

表 2.1.4 被害一覧（市町別）（3/4）

市町別	ライフライン被害					交通施設被害		
	上水道	下水道	電力	通信(固定・携帯電話)	都市ガス	道路(緊急輸送)	鉄道	港湾
	断水人口 (人)	支障人口 (人)	停電軒数 (軒)	不通回線数 (回線)	供給停止戸数 (戸数)	被害箇所 (箇所)	被害箇所 (箇所)	港湾被害箇所 (箇所)
高松市	329,000	64,000	260,000	71,000	39,000	200	140	40
丸亀市	69,000	16,000	57,000	19,000	8,200	60	20	30
坂出市	43,000	13,000	32,000	7,100	4,000	60	40	*
普通寺市	20,000	950	19,000	6,100	2,300	20	10	-
観音寺市	54,000	7,300	33,000	14,000	-	60	40	*
さぬき市	39,000	14,000	30,000	14,000	-	50	40	*
東かがわ市	29,000	840	20,000	7,600	-	40	50	*
三豊市	67,000	260	36,000	18,000	-	80	50	10
土庄町	10,000	20	11,000	4,800	-	10	-	*
小豆島町	12,000	*	15,000	4,600	-	20	-	10
三木町	20,000	340	15,000	5,700	-	20	10	-
直島町	3,200	3,200	7,800	760	-	*	-	*
宇多津町	15,000	6,200	12,000	1,800	2,800	10	20	-
綾川町	15,000	450	12,000	5,700	-	30	20	-
琴平町	6,200	230	6,200	5,000	1,100	*	10	-
多度津町	19,000	13,000	12,000	3,700	860	10	30	-
まんのう町	12,000	160	8,900	2,500	-	30	30	-
香川県	763,000	141,000	587,000	190,000	58,000	690	510	100

表 2.1.5 被害一覧（市町別）（4/4）

市町別	生活への影響						災害廃棄物			その他の被害			
	避難者（直後）		避難者（1週間後）		避難者（1ヶ月後）		災害廃棄物等			エレベータの停止	危険物		
	避難者	避難所外	避難者	避難所外	避難者	避難所外	災害廃棄物	津波堆積物(2.5cm)	津波堆積物(4cm)	停止数	火災	流出	破損等
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(トン)	(トン)	(トン)	(棟数)	(箇所)	(箇所)	(箇所)
高松市	43,000	29,000	33,000	13,000	26,000	62,000	537,000	595,000	953,000	630	*	*	30
丸亀市	11,000	7,300	8,500	3,000	4,900	12,000	126,000	228,000	365,000	160	*	*	10
坂出市	13,000	8,400	7,400	1,500	6,400	15,000	111,000	397,000	636,000	80	*	*	10
普通寺市	910	610	1,700	1,700	770	1,800	32,000	-	-	30	*	*	*
観音寺市	13,000	8,700	10,000	3,900	6,900	16,000	279,000	274,000	439,000	60	*	*	10
さぬき市	7,200	4,800	5,100	1,800	3,800	8,800	102,000	182,000	291,000	40	*	*	10
東かがわ市	7,200	4,700	6,400	2,500	4,400	10,000	180,000	125,000	199,000	30	*	*	10
三豊市	11,000	7,400	10,000	4,600	6,500	15,000	265,000	319,000	511,000	30	*	*	20
土庄町	1,800	1,200	1,400	560	1,300	3,100	19,000	65,000	104,000	20	*	*	*
小豆島町	3,400	2,300	2,400	670	2,100	4,900	41,000	114,000	182,000	10	*	*	*
三木町	350	230	620	620	250	580	15,000	-	-	20	*	*	*
直島町	510	340	420	170	540	1,300	4,100	40,000	64,000	*	*	*	*
宇多津町	2,300	1,500	1,800	740	1,600	3,700	33,000	36,000	57,000	50	*	*	*
綾川町	110	70	330	330	150	360	8,400	-	-	20	*	*	*
琴平町	260	170	490	490	200	480	11,000	-	-	20	*	*	*
多度津町	4,200	2,800	3,200	1,200	2,500	5,900	72,000	97,000	155,000	20	*	*	10
まんのう町	250	170	710	710	310	710	16,000	-	-	10	*	*	*
香川県	119,000	80,000	95,000	37,000	69,000	161,000	1,851,000	2,473,000	3,956,000	1,200	*	10	110

注：「-」はデータ無しまたは公表なし、「*」は少ないが被害がある、四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある

2) 南海トラフの発生頻度の高い地震

震度 4~6 弱の揺れ、沿岸域に津波の浸水を受けるが、比較的規模が小さいため、建物倒壊、人的被害、避難者等、被害を受ける範囲は集中している。

表 2.1.6 被害一覧（市町別）（1/4）

市町別	建物被害（全壊）					人的被害（死者数）					
	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	地震火災	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等
						うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物					
(棟数)	(棟数)	(棟数)	(棟数)	(焼失棟数)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
高松市	50	780	10	*	*	*	*	*	*	*	*
丸亀市	*	60	*	*	*	*	*	*	*	*	*
坂出市	*	180	10	*	*	*	*	*	*	*	*
普通寺市	*	10	-	*	*	*	*	-	*	*	*
観音寺市	*	130	*	*	*	*	*	*	*	*	*
さぬき市	50	280	10	*	*	*	*	90	*	*	*
東かがわ市	290	130	*	*	*	20	*	*	*	*	*
三豊市	*	140	10	*	*	*	*	*	*	*	*
土庄町	*	30	*	*	*	*	*	*	*	*	*
小豆島町	10	40	*	*	*	*	*	*	*	*	*
三木町	*	70	-	*	*	*	*	-	*	*	*
直島町	*	10	*	*	*	*	*	*	*	*	*
宇多津町	*	20	*	*	*	*	*	*	*	*	*
綾川町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
琴平町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
多度津町	*	20	*	*	*	*	*	*	*	*	*
まんのう町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
香川県	410	1,900	40	*	*	20	*	90	*	*	*

表 2.1.7 被害一覧（市町別）（2/4）

市町別	人的被害（負傷者数）						人的被害（自力脱出困難者・要救助者）	
	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	揺れに伴う自力脱出困難者	津波による要救助者
高松市	360	10	*	*	*	*	20	*
丸亀市	30	*	*	*	*	*	*	*
坂出市	30	*	*	*	*	*	*	*
普通寺市	10	*	-	*	*	*	*	-
観音寺市	40	*	*	*	*	*	*	*
さぬき市	160	*	20	*	*	*	10	10
東かがわ市	400	*	*	*	*	*	60	*
三豊市	30	*	*	*	*	*	*	*
土庄町	20	*	*	*	*	*	*	*
小豆島町	40	*	*	*	*	*	*	*
三木町	30	*	-	*	*	*	*	-
直島町	*	*	*	*	*	*	*	*
宇多津町	*	*	*	*	*	*	*	*
綾川町	10	*	-	*	*	*	*	-
琴平町	*	*	-	*	*	*	*	-
多度津町	20	*	*	*	*	*	*	*
まんのう町	*	*	-	*	*	*	*	-
香川県	1,200	30	20	*	*	*	90	10

注：「-」はデータ無しまたは公表なし、「*」は少ないが被害がある、四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある

表 2.1.8 被害一覧（市町別）（3/4）

市町別	ライフライン被害					交通施設被害		
	上水道	下水道	電力	通信(固定・携帯電話)	都市ガス	道路(緊急輸送)	鉄道	港湾
	断水人口 (人)	支障人口 (人)	停電軒数 (軒)	不通回線数 (回線)	供給停止戸数 (戸数)	被害箇所 (箇所)	被害箇所 (箇所)	港湾被害箇所 (箇所)
高松市	124,000	6,500	47,000	12,000	11,000	120	80	*
丸亀市	4,800	930	790	290	710	30	10	*
坂出市	9,000	360	120	100	1,200	30	10	*
善通寺市	750	390	0	30	0	10	10	-
観音寺市	10,000	290	1,200	560	-	30	10	*
さぬき市	22,000	940	13,000	5,700	-	30	30	*
東かがわ市	23,000	340	19,000	8,300	-	30	30	*
三豊市	7,800	50	600	520	-	30	20	*
土庄町	2,200	10	660	260	-	10	-	*
小豆島町	3,900	-	3,100	1,500	-	10	-	*
三木町	10,000	160	1,300	510	-	10	10	-
直島町	180	50	*	10	-	*	-	*
宇多津町	1,200	240	0	10	20	*	10	-
綾川町	2,000	200	30	20	-	20	10	-
琴平町	180	90	0	30	0	*	*	-
多度津町	3,700	330	1,100	500	300	10	10	*
まんのう町	650	60	0	10	-	10	10	-
香川県	226,000	11,000	88,000	30,000	13,000	380	240	*

表 2.1.9 被害一覧（市町別）（4/4）

市町別	生活への影響						災害廃棄物			その他の被害			
	避難者（直後）		避難者（1週間後）		避難者（1ヶ月後）		災害廃棄物等			エレベータの停止	危険物		
	避難者	避難所外	避難者	避難所外	避難者	避難所外	災害廃棄物	津波堆積物(2.5cm)	津波堆積物(4cm)	停止数	火災	流出	破損等
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(トン)	(トン)	(トン)	(棟数)	(箇所)	(箇所)	(箇所)
高松市	13,000	8,800	2,600	1,900	2,200	5,000	21,000	82,000	131,000	600	-	*	20
丸亀市	3,200	2,100	140	110	70	160	1,300	24,000	38,000	150	-	*	10
坂出市	3,900	2,600	570	300	550	1,300	3,700	76,000	122,000	80	-	*	*
善通寺市	10	10	10	10	10	10	80	-	-	30	-	*	*
観音寺市	2,700	1,800	270	180	220	520	1,800	26,000	42,000	60	-	*	*
さぬき市	3,900	2,600	1,100	690	1,000	2,400	5,700	76,000	122,000	40	-	*	*
東かがわ市	1,800	1,200	1,200	880	800	1,900	7,200	11,000	18,000	30	-	*	*
三豊市	2,100	1,400	480	320	570	1,300	2,100	33,000	53,000	30	-	*	10
土庄町	1,300	840	160	80	170	390	440	33,000	53,000	20	-	*	*
小豆島町	2,100	1,400	240	140	270	620	770	41,000	65,000	10	-	*	*
三木町	110	70	150	130	50	130	1,500	-	-	20	-	*	*
直島町	350	230	30	20	30	80	270	22,000	35,000	*	-	*	*
宇多津町	60	40	20	20	10	20	640	140	230	40	-	*	*
綾川町	*	*	10	10	*	10	60	-	-	20	-	*	*
琴平町	*	*	*	*	*	*	20	-	-	20	-	*	*
多度津町	570	380	90	70	50	120	370	2,800	4,600	20	-	*	*
まんのう町	*	*	*	*	*	*	10	-	-	10	-	*	*
香川県	35,000	24,000	7,100	4,800	6,000	14,000	47,000	427,000	684,000	1,200	-	*	60

注：「-」はデータ無しまたは公表なし、「*」は少ないが被害がある、四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある

3) 中央構造線で発生する地震

震度4～7が分布しているが、被害の範囲は島嶼部を除く地域で震度6弱～7の強い揺れが広く分布しているため、建物倒壊、人的被害、避難者等、被害を受ける規模が大きく、また県内全域に及んでいる。

表 2.1.10 被害一覧（市町別）（1/4）

市町別	建物被害（全壊）					人的被害（死者数）					
	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	地震火災	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等
高松市	5,300	1,100	-	30	390	320	50	-	*	*	*
丸亀市	920	100	-	*	*	60	10	-	*	*	*
坂出市	350	470	-	*	*	20	10	-	*	*	*
普通寺市	270	10	-	*	*	20	*	-	*	*	*
観音寺市	6,900	230	-	20	2,000	440	20	-	*	30	*
さぬき市	160	300	-	*	360	10	10	-	*	*	*
東かがわ市	3,500	200	-	10	890	230	10	-	*	10	*
三豊市	3,000	260	-	30	1,200	190	10	-	*	10	*
土庄町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
小豆島町	*	30	-	*	220	*	*	-	*	*	*
三木町	70	100	-	*	*	*	*	-	*	*	*
直島町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
宇多津町	70	90	-	*	*	*	*	-	*	*	*
綾川町	20	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
琴平町	10	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
多度津町	380	40	-	*	630	20	*	-	*	*	*
まんのう町	100	*	-	*	*	10	*	-	*	*	*
香川県	21,000	3,000	-	110	5,700	1,300	130	-	*	40	*

表 2.1.11 被害一覧（市町別）（2/4）

市町別	人的被害（負傷者数）						人的被害（自力脱出困難者・要救助者）	
	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	揺れに伴う自力脱出困難者	津波による要救助者
高松市	4,100	600	-	*	*	*	1,400	-
丸亀市	1,000	180	-	*	*	*	220	-
坂出市	430	100	-	*	*	*	80	-
普通寺市	360	70	-	*	*	*	60	-
観音寺市	2,400	330	-	*	10	*	1,300	-
さぬき市	240	100	-	*	*	*	30	-
東かがわ市	1,200	180	-	*	*	*	720	-
三豊市	1,600	200	-	*	*	*	490	-
土庄町	*	*	-	*	*	*	*	-
小豆島町	20	*	-	*	*	*	*	-
三木町	130	*	-	*	*	*	10	-
直島町	*	*	-	*	*	*	*	-
宇多津町	90	30	-	*	*	*	20	-
綾川町	60	*	-	*	*	*	*	-
琴平町	40	30	-	*	*	*	*	-
多度津町	370	60	-	*	*	*	70	-
まんのう町	190	50	-	*	*	*	20	-
香川県	12,000	1,900	-	*	20	*	4,400	-

注：「-」はデータ無しまたは公表なし、「*」は少ないが被害がある、四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある

表 2.1.12 被害一覧（市町別）（3/4）

市町別	ライフライン被害					交通施設被害		
	上水道	下水道	電力	通信(固定・携帯電話)	都市ガス	道路(緊急輸送)	鉄道	港湾
	断水人口 (人)	支障人口 (人)	停電軒数 (軒)	不通回線数 (回線)	供給停止戸数 (戸数)	被害箇所 (箇所)	被害箇所 (箇所)	港湾被害箇所 (箇所)
高松市	296,000	19,000	235,000	76,000	44,000	160	140	*
丸亀市	60,000	2,800	55,000	21,000	11,000	50	20	*
坂出市	33,000	900	26,000	9,600	7,200	40	30	*
普通寺市	15,000	900	17,000	5,600	2,400	20	10	-
観音寺市	55,000	1,900	34,000	17,000	-	50	40	*
さぬき市	22,000	1,100	17,000	9,600	-	40	30	*
東かがわ市	29,000	800	20,000	9,400	-	40	50	*
三豊市	48,000	170	33,000	18,000	-	60	40	*
土庄町	30	*	10	10	-	*	-	*
小豆島町	1,700	*	1,300	610	-	10	-	*
三木町	15,000	230	10,000	3,900	-	20	10	-
直島町	*	30	*	*	-	*	-	10
宇多津町	13,000	750	11,000	2,900	3,600	10	10	-
綾川町	7,400	250	3,500	1,800	-	20	10	-
琴平町	2,900	150	2,900	2,700	500	*	10	-
多度津町	15,000	810	12,000	5,600	1,200	10	20	-
まんのう町	9,500	160	8,400	2,400	-	30	30	-
香川県	622,000	30,000	486,000	187,000	69,000	540	450	10

表 2.1.13 被害一覧（市町別）（4/4）

市町別	生活への影響						災害廃棄物			その他の被害			
	避難者（直後）		避難者（1週間後）		避難者（1ヶ月後）		災害廃棄物等			エレベータの停止	危険物		
	避難者	避難所外	避難者	避難所外	避難者	避難所外	災害廃棄物	津波堆積物(2.5cm)	津波堆積物(4cm)	停止数	火災	流出	破損等
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(トン)	(トン)	(トン)	(棟数)	(箇所)	(箇所)	(箇所)
高松市	11,000	7,000	18,000	18,000	7,600	18,000	341,000	-	-	630	*	*	30
丸亀市	1,400	910	3,700	3,700	1,200	2,700	28,000	-	-	160	*	*	10
坂出市	1,000	690	1,600	1,600	600	1,400	29,000	-	-	80	*	*	*
普通寺市	280	190	770	770	260	610	5,300	-	-	30	*	*	*
観音寺市	6,200	4,200	8,800	8,800	5,400	13,000	266,000	-	-	60	*	*	10
さぬき市	410	270	620	620	280	650	11,000	-	-	40	*	*	*
東かがわ市	3,300	2,200	4,500	4,500	2,900	6,700	154,000	-	-	30	*	*	10
三豊市	2,700	1,800	4,500	4,500	2,300	5,400	110,000	-	-	30	*	*	10
土庄町	20	20	20	20	10	30	*	-	-	20	*	*	*
小豆島町	40	30	50	50	20	50	350	-	-	10	*	*	*
三木町	170	110	380	380	120	270	3,700	-	-	20	*	*	*
直島町	*	*	*	*	*	*	*	-	-	*	*	*	*
宇多津町	220	150	620	620	200	470	5,100	-	-	50	*	*	*
綾川町	10	10	100	100	20	50	40	-	-	20	*	*	*
琴平町	20	10	50	50	20	40	120	-	-	20	*	*	*
多度津町	460	300	930	930	430	1,000	14,000	-	-	20	*	*	*
まんのう町	70	50	220	220	100	230	120	-	-	10	*	*	*
香川県	27,000	18,000	45,000	45,000	21,000	50,000	968,000	-	-	1,200	*	10	100

注：「-」はデータ無しまたは公表なし、「*」は少ないが被害がある、四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある

4) 長尾断層で発生する地震

震度4～6強の揺れが分布しているが、建物倒壊、人的被害、避難者等、被害を受ける範囲は想定断層付近の市町に集中している。

表 2.1.14 被害一覧（市町別）（1/4）

市町別	建物被害（全壊）					人的被害（死者数）					
	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	地震火災	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等
						うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物					
(棟数)	(棟数)	(棟数)	(棟数)	(焼失棟数)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
高松市	470	760	-	10	*	30	*	-	*	*	*
丸亀市	*	30	-	*	*	*	*	-	*	*	*
坂出市	10	170	-	*	*	*	*	-	*	*	*
普通寺市	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
観音寺市	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
さぬき市	30	50	-	*	*	*	*	-	*	*	*
東かがわ市	60	150	-	*	*	*	*	-	*	*	*
三豊市	*	60	-	*	*	*	*	-	*	*	*
土庄町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
小豆島町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
三木町	90	80	-	*	*	10	*	-	*	*	*
直島町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
宇多津町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
綾川町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
琴平町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
多度津町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
まんのう町	*	*	-	*	*	*	*	-	*	*	*
香川県	660	1,300	-	20	*	40	*	-	*	*	*

表 2.1.15 被害一覧（市町別）（2/4）

市町別	人的被害（負傷者数）						人的被害（自力脱出困難者・要救助者）	
	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	揺れに伴う自力脱出困難者	津波による要救助者
高松市	940	10	-	*	*	*	120	-
丸亀市	30	*	-	*	*	*	*	-
坂出市	60	*	-	*	*	*	*	-
普通寺市	*	*	-	*	*	*	*	-
観音寺市	*	*	-	*	*	*	*	-
さぬき市	40	*	-	*	*	*	10	-
東かがわ市	140	*	-	*	*	*	10	-
三豊市	20	*	-	*	*	*	*	-
土庄町	*	*	-	*	*	*	*	-
小豆島町	*	*	-	*	*	*	*	-
三木町	100	*	-	*	*	*	20	-
直島町	*	*	-	*	*	*	*	-
宇多津町	*	*	-	*	*	*	*	-
綾川町	*	*	-	*	*	*	*	-
琴平町	*	*	-	*	*	*	*	-
多度津町	*	*	-	*	*	*	*	-
まんのう町	10	*	-	*	*	*	*	-
香川県	1,300	40	-	*	*	*	160	-

注：「-」はデータ無しまたは公表なし、「*」は少ないが被害がある、四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある

表 2.1.16 被害一覧（市町別）（3/4）

市町別	ライフライン被害					交通施設被害		
	上水道	下水道	電力	通信(固定・携帯電話)	都市ガス	道路(緊急輸送)	鉄道	港湾
	断水人口 (人)	支障人口 (人)	停電軒数 (軒)	不通回線数 (回線)	供給停止戸数 (戸数)	被害箇所 (箇所)	被害箇所 (箇所)	港湾被害箇所 (箇所)
高松市	154,000	8,500	125,000	40,000	26,000	120	90	*
丸亀市	6,300	990	360	80	80	30	10	*
坂出市	11,000	540	8,400	2,700	2,900	20	10	*
普通寺市	590	380	10	10	*	10	*	-
観音寺市	100	90	130	80	-	10	10	*
さぬき市	4,200	460	1,400	770	-	20	10	*
東かがわ市	14,000	220	9,800	4,700	-	20	30	*
三豊市	3,000	20	1,500	830	-	10	10	*
土庄町	*	*	10	10	-	*	-	*
小豆島町	*	*	20	10	-	*	-	*
三木町	10,000	240	5,600	2,100	-	10	10	-
直島町	*	10	*	*	-	*	-	*
宇多津町	340	200	*	*	*	*	*	-
綾川町	610	130	40	20	-	10	*	-
琴平町	20	50	*	*	*	*	*	-
多度津町	220	210	30	20	*	*	10	-
まんのう町	310	30	310	80	-	10	*	-
香川県	205,000	12,000	153,000	51,000	29,000	300	190	*

表 2.1.17 被害一覧（市町別）（4/4）

市町別	生活への影響						災害廃棄物			その他の被害			
	避難者（直後）		避難者（1週間後）		避難者（1ヶ月後）		災害廃棄物等			エレベータの停止	危険物		
	避難者 (人)	避難所外 (人)	避難者 (人)	避難所外 (人)	避難者 (人)	避難所外 (人)	災害廃棄物 (トン)	津波堆積物 (2.5cm) (トン)	津波堆積物 (4cm) (トン)	停止数 (棟数)	火災 (箇所)	流出 (箇所)	破損等 (箇所)
高松市	1,800	1,200	3,000	3,000	1,100	2,500	29,000	-	-	610	*	*	20
丸亀市	30	20	180	180	30	70	200	-	-	150	*	*	10
坂出市	170	120	200	200	90	210	3,800	-	-	80	*	*	*
普通寺市	*	*	*	*	*	*	*	-	-	30	*	*	*
観音寺市	0	0	0	0	0	0	*	-	-	50	*	*	*
さぬき市	20	10	60	60	20	40	510	-	-	40	*	*	*
東かがわ市	180	120	250	250	90	220	4,600	-	-	30	*	*	*
三豊市	60	40	60	60	30	70	1,500	-	-	30	*	*	*
土庄町	0	0	0	0	0	0	*	-	-	10	*	*	*
小豆島町	0	0	0	0	0	0	*	-	-	10	*	*	*
三木町	150	100	250	250	90	220	4,000	-	-	20	*	*	*
直島町	0	0	0	0	0	0	*	-	-	*	*	*	*
宇多津町	*	*	*	*	*	*	40	-	-	40	*	*	*
綾川町	0	0	*	*	0	0	*	-	-	10	*	*	*
琴平町	0	0	0	0	0	0	*	-	-	20	*	*	*
多度津町	*	*	*	*	*	*	*	-	-	20	*	*	*
まんのう町	*	*	*	*	*	*	*	-	-	10	*	*	*
香川県	2,400	1,600	4,000	4,000	1,400	3,400	44,000	-	-	1,200	*	*	50

注：「-」はデータ無しまたは公表なし、「*」は少ないが被害がある、四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある

(3) ライフラインの復旧予測

1) 上水道

表 2.1.18 被害数推計結果（断水人口：人）

	供給人口	発災直後	1日後	1週間後	1か月後	参考 ^(注)
南海トラフ(L2)	981,000	763,000	554,000	377,000	229,000	208,000
南海トラフ(L1)	981,000	226,000	65,000	29,000	18,000	17,000
中央構造線	981,000	622,000	402,000	220,000	53,000	25,000
長尾断層	981,000	205,000	58,000	17,000	1,500	590

2) 下水道

表 2.1.19 被害数推計結果（支障人口：人）

	供給人口	発災直後	1日後	1週間後	1か月後	参考 ^(注)
南海トラフ(L2)	501,000	141,000	139,000	86,000	61,000	61,000
南海トラフ(L1)	501,000	11,000	9,500	1,600	690	690
中央構造線	501,000	30,000	29,000	18,000	1,700	1,700
長尾断層	501,000	12,000	11,000	2,200	40	40

3) 電力

表 2.1.20 被害数推計結果（停電軒数：軒）

	供給人口	発災直後	1日後	1週間後	1か月後	参考 ^(注)
南海トラフ(L2)	590,000	587,000	269,000	79,000	78,000	78,000
南海トラフ(L1)	590,000	88,000	22,000	7,700	7,700	7,700
中央構造線	590,000	486,000	188,000	14,000	12,000	12,000
長尾断層	590,000	153,000	28,000	1,700	1,700	1,700

4) 通信（固定電話）

表 2.1.21 被害数推計結果（不通回線数：回線）

	供給人口	発災直後	1日後	1週間後	1か月後	参考 ^(注)
南海トラフ(L2)	244,000	190,000	80,000	14,000	14,000	14,000
南海トラフ(L1)	244,000	30,000	6,000	930	930	930
中央構造線	244,000	187,000	72,000	3,700	2,800	2,800
長尾断層	244,000	51,000	9,200	140	140	140

5) 都市ガス

表 2.1.22 被害数推計結果（供給停止戸数：戸）

	供給人口	発災直後	1日後	1週間後	1か月後	参考 ^(注)
南海トラフ(L2)	85,000	58,000	54,000	52,000	28,000	2,000
南海トラフ(L1)	85,000	13,000	3,900	3,200	1,100	470
中央構造線	85,000	69,000	58,000	56,000	30,000	2,400
長尾断層	85,000	29,000	9,400	7,800	2,400	210

注：ライフラインの被害数のうち、今回の対象期間内での仮復旧が困難である津波浸水、火災、急傾斜地崩壊による被害区域における被害数を示しています。

2.2 減災効果

減災効果の予測について、以下の対策を講じた場合、南海トラフの最大クラスの地震による被害想定がどの程度軽減されるか評価した。

- 全ての建物の耐震化を実施
- 家具類の転倒・落下防止対策を実施
- 津波避難の迅速化 下表のパターンを設定

表 2.2.1 避難の有無、避難開始時期の設定

	避難行動別の比率		
	すぐに避難する (直接避難)	避難するがすぐ には避難しない (用事後避難)	切迫避難※ある いは避難しない
発災後全員が即避難	100%	0%	0%
早期避難者が少ない	20%	50%	30%

※切迫避難とは、津波に到来を自覚してから避難を開始するなどの状態を言う。

2.2.1 建物の耐震化

県内の住宅の耐震化率は、現状が約76%（平成23年10月現在）となっている。

旧耐震基準の建物の建て替えや耐震化により、全ての建物の耐震性が強化された場合には、揺れに伴う全壊棟数は、約11分の1に、それに伴う死者数は約15分の1に軽減される。

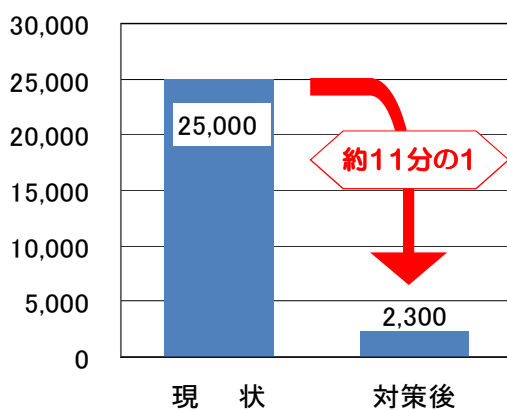


図 2.2.1 揺れによる全壊棟数の軽減 (棟)

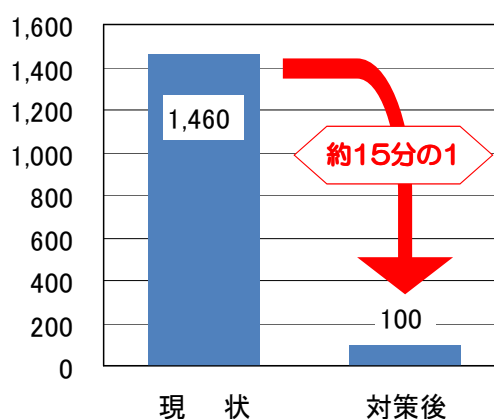


図 2.2.2 揺れによる全壊に伴う死者数の軽減 (人)

2.2.2 屋内収容物の転倒防止対策

県内の家具類の転倒・落下防止対策実施率は、約13%（平成24年10月県政世論調査）となっている。この実施率を100%にすることで、死傷者数は約4分の1に軽減される。

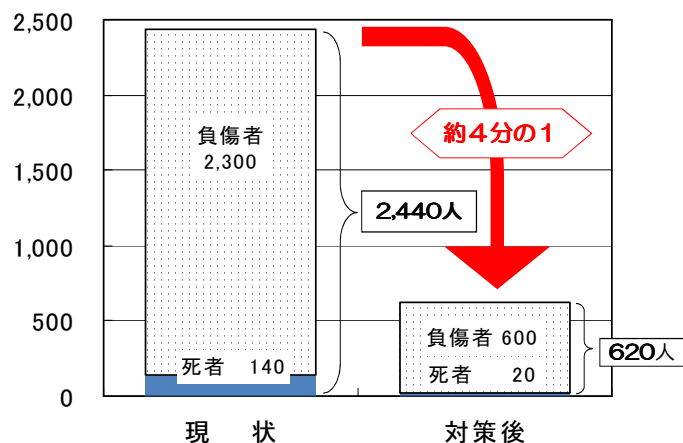


図 2.2.3 家具類の転倒・落下防止対策による死傷者の軽減（人）
（冬深夜による比較）

2.2.3 津波避難の早期化

地震発生後、すぐに避難する県民が100%になれば、死者数は、約23分の1に軽減される。

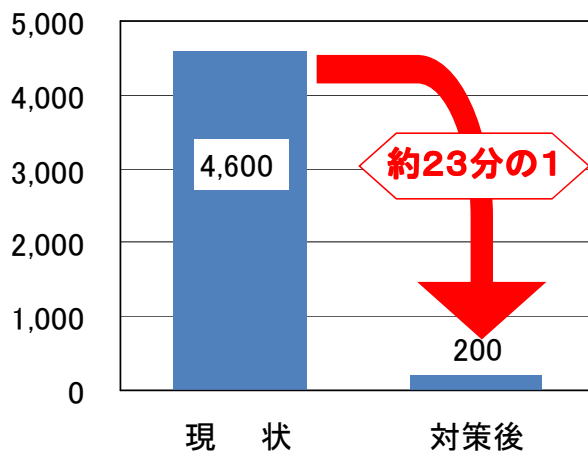


図 2.2.4 津波避難意識向上による死者数の軽減（人）
（冬深夜による比較）

2.2.4 減災効果による直接経済被害額

建物の耐震化を100%とすれば、建物倒壊が大幅に軽減され、直接経済被害額も約2分の1に減少する。

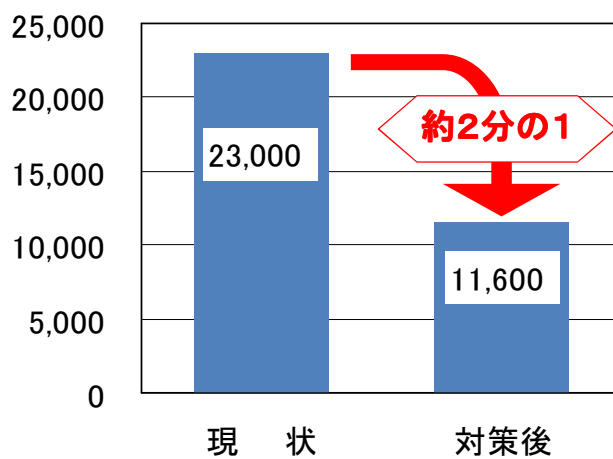


図 2.2.5 建物耐震化による建物被害額の軽減 (億円)
(冬深夜による比較)

3. 被害シナリオ

香川県に大きな被害をもたらすと思われる地震に伴う被害が、時間の経過とともにどのように推移するかを示した「被害シナリオ」を作成した。また、この被害シナリオを時系列的に、地震発生から復旧までの事態がどのように推移していくかを1枚にまとめた被害シナリオ（要約）も作成した。

本概要版では、被害シナリオ（要約）を次頁以降に示した。

なお、本被害シナリオ（要約）は、あくまでも一つの想定として作成したもので、実際に地震が発生した場合に、必ずしもこのシナリオどおりに事象が発生するわけではない。また、次に起こる地震を想定したものでもない。

3.1 南海トラフの最大クラスの地震

項目	被害想定	地震発生	～半日	～1日
災害	地震の想定 震度:5強～7	(地震動) ○県全域で震度5強～7の強い揺れが発生 (液状化) ○海岸域の埋立地で顕著であり、山地の河川沿い等の沖積地や河川等の埋立地などでも発生する区域が存在 (その他) ○地震が発生することにより、以下の事象が発生する恐れあり ・急傾斜地の崩壊や地すべりの発生 ・沿岸部では地震により堤防が破壊され、津波到達前に浸水する箇所が発生		
	津波被害の想定 海面変動開始時間(±20cm) :4分～98分 最高津波到達時間 :83分～511分 最高水位:T.P.2.8～3.8m	○津波第1波到達		
建物被害	建物被害の想定 全壊:35,000棟(合計) 揺れ:25,000棟 液状化:2,500棟 津波:2,000棟 急傾斜地:220棟 地震火災:5,700棟	○耐震性の低い古い建物を中心に全壊 ○液状化により建物が沈下、傾斜被害を受け継続的な居住や日常生活が困難 ○木造住宅が密集している地域を中心に地震火災が同時多発し延焼火災を含む大規模な火災により焼失する ○津波により建物が全壊 ○津波により漂流するがれきからの出火などから津波火災が発生	初期消火・出火防止活動 消防署・消防団の消火活動 救護活動の拠点となる病院、避難所等の自主的防災対策を優先的に実施 消火に必要な水の確保及び対応策の検討 避難時の留意事項の呼びかけ(ブレーカー遮断等)	
	人的被害の想定 死者:6,200人 負傷者:19,000人 自力脱出困難者:5,400人 津波要救助者:400人	○耐震性の低い木造建物を中心に、揺れによる建物倒壊により死者が発生 ○急傾斜地崩壊や地滑りにより生き埋め等による死傷者が発生 ○出火家屋からの逃げ遅れ、家屋内の閉じ込め等により死者が発生 ○その他、以下の理由により死傷者が発生する可能性あり ・屋外転倒物や屋外落下物 ・屋内において、固定していない家具の移動や転倒等 ○倒壊建物等への閉じ込めによる要救助者の発生 ○津波浸水深30cm以上の地域を中心に津波に巻き込まれ死者が発生 ○津波に対して中高層階へ避難した要救助者の発生 ○津波による被害者発生(避難時等の人的被害、行方不明者)	○津波浸水深30cm以上の地域を中心に津波に巻き込まれ死者が発生 ○津波に対して中高層階へ避難した要救助者の発生 ○津波による被害者発生(避難時等の人的被害、行方不明者)	自身の安全確保(安全確認・安否確認) 家族の安否確認 倒壊家屋からの救助活動(地域) 消防署、警察、自衛隊の連携した救助、救出活動 顧客・社員の安全確保(安全確認、緊急避難) 社員及びその家族の安否確認
ライフライン被害	ライフラインの被害想定 上水道(断水人口) :763,000人(78%) 下水道(機能支障人口) :141,000人(28%) 電力(停電軒数):587,000軒 :99% 通信(不通回線数) :190,000回線(78%) 都市ガス(供給停止戸数) :58,000戸(68%)	○震度6弱以上の地域全域が停電 ○ガス供給停止、水道断水 ○下水道施設の処理が困難 ○震度6弱以上の多くのエリアで固定電話、携帯電話の利用困難 ○津波浸水エリアでは施設の損壊や倒壊により利用困難	公共機関及び医療機関における自家発電の稼働	○非常用発電機の燃料切れによる通
交通施設被害	交通施設被害 道路(緊急輸送道路) :690箇所 鉄道:510箇所 港湾(防災機能強化港) :100箇所	○高速道路では道路施設被害等による通行困難 ○点検のための交通規制、道路への建物倒壊等により通行困難 ○駅前、バス停等に帰宅困難者集結 ○中山間部で地すべりや斜面崩壊により通行機能障害が発生 ○建物倒壊などによる道路閉塞発生 ○鉄道施設の被害、地震による点検などにより鉄道全線不通 ○津波により浸水した道路が通行困難 ○津波により港湾施設が破損し機能停止	警察、道路管理者と連携した状況把握 緊急輸送道路の啓開、確保(道路障害物の除去等) 交通規制等による緊急輸送道路通行の確保	帰宅困難者の交

項目	被害想定	地震発生	～半日	～1日
生活への影響	避難人口 199,000人	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営要員の被災 ○避難者が避難所に到着 ○サービスステーション(SS)、タンクローリーの被害 ○医療機関の機能が低下 ○医師、看護師の不足で診察機能が低下 ○病院でのトリアージ医療 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定避難所以外への避難による混乱 ○屋外避難の発生(グラウンド、自動車) ○軽傷～重傷者が病院に集中 	<ul style="list-style-type: none"> ○帰宅困難者が避難所に避難 ○避難所の避難スペース不足 ○医師・検死医が不足し、身元確認が ○スーパー、コンビニでの物資不足(県)
災害廃棄物等廃棄	災害廃棄物 1,851,000トン 津波堆積物 2,473,000トン～3,956,000トン	<ul style="list-style-type: none"> ○家屋倒壊等に伴う災害廃棄物発生 ○津波堆積物の発生 		
その他の被害	エレベータの停止 1,200棟数 危険物 流出 10箇所 破損等 110箇所	<ul style="list-style-type: none"> ○エレベータ停止に伴う閉じ込め者の発生 ○長周期地震動の発生 ・建物被害の発生 ・屋内収容物転倒・落下等による二次被害発生 ○建物被害による道路閉塞により緊急車両の通行不能 ○避難行動要支援者等のほう助 ○施設等のダメージによる公共交通機関の機能停止 	<ul style="list-style-type: none"> ○危険物施設等のタンク等からの石油流出 ・石油流出による火災発生 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間差による地震が発生した

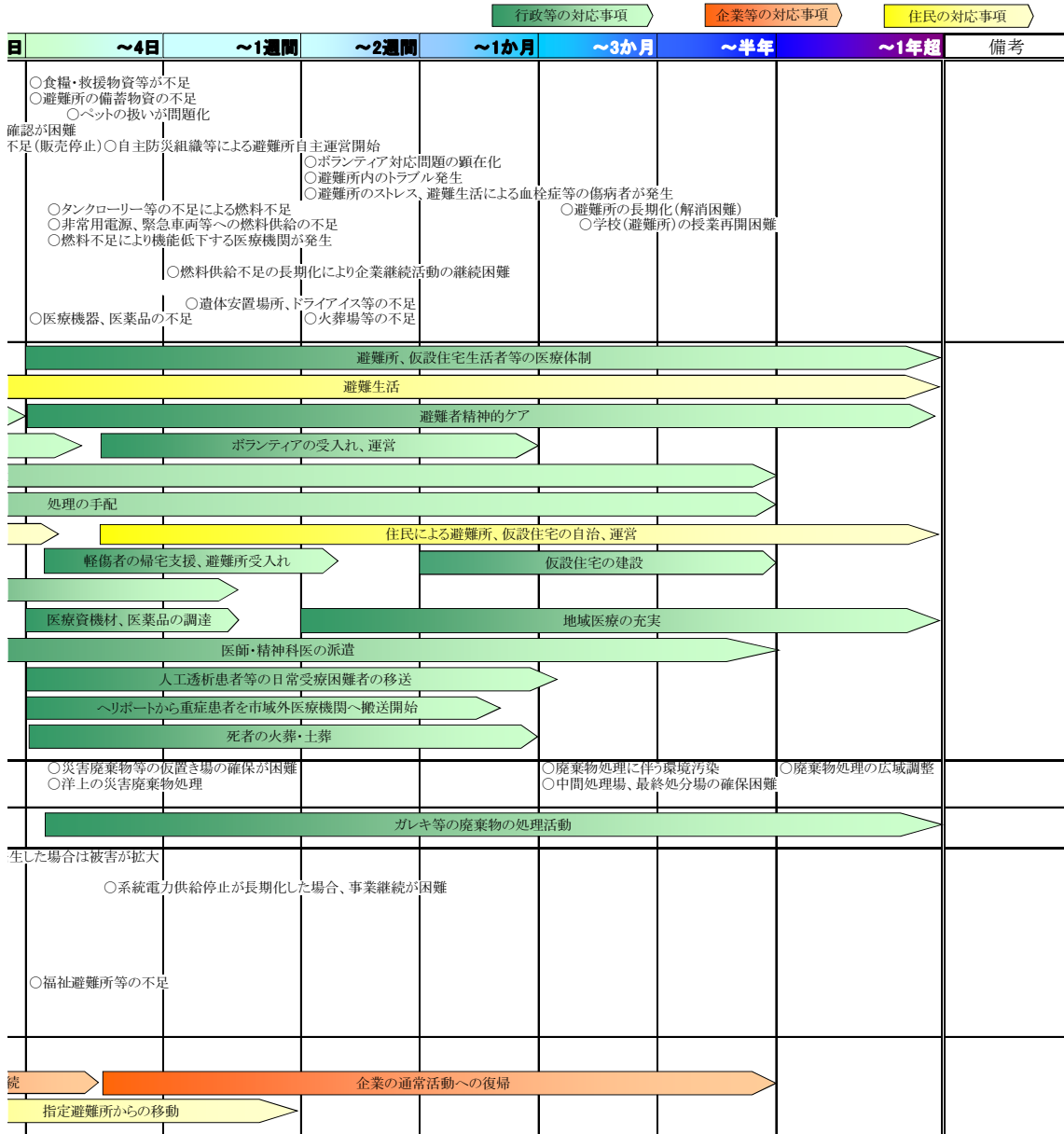


図 3.1.2 南海トラフの最大クラスの地震による被害シナリオ要約版 (2/2)

3.2 南海トラフの発生頻度の高い地震

項目	被害想定	地震発生	～半日	～1日
災害	地震の想定 震度:4～6弱	(地震動) ○県全域で震度4～6弱の強い揺れが発生 (液状化) ○海岸域の埋立地で顕著であり、山地の河川沿い等の沖積地や河川等の埋立地などでも発生する区域が存在 (その他) ○地震が発生することにより、以下の事象が発生する恐れあり ・急傾斜地の崩壊や地すべりの発生		
	津波被害の想定	○津波第1波到達		
建物被害	建物被害の想定 全壊:2,300棟(合計) 揺れ:410棟 津波:40棟 液状化:1,900棟 急傾斜地:若干	○震度6弱以上の揺れが発生する地域の耐震性の低い古い建物を中心に全壊 ○液状化により建物が沈下、傾斜被害を受け継続的な居住や日常生活が困難 ○地震火災に伴う被害が発生する恐れあり ○津波により建物が全壊 ○津波により漂流するがれきからの出火などから津波火災が発生	初期消火・出火防止活動 消防署・消防団の消火活動 救護活動の拠点となる病院、避難所等の自主的防災活動を優先的に実施 避難時の留意事項の呼びかけ(ブレーカー遮断等)	
	人的被害の想定 死者:50人 負傷者:1,200人 自力脱出困難者:90人	○耐震性の低い木造建物を中心に、揺れによる建物倒壊により死者が発生 ○急傾斜地崩壊や地滑りにより生き埋め等による死傷者が発生 ○出火家屋からの逃げ遅れ、家屋内の閉じ込め等により死者が発生 ○その他、以下の理由により死傷者が発生する可能性あり ・屋外転倒物や屋外落下物 ・屋内において、固定していない家具の移動や転倒等 ○倒壊建物等への閉じ込めによる要救助者の発生 ○津波浸水深30cm以上の地域を中心に津波に巻き込まれ死者が発生 ○津波に対して中高層階へ避難した要救助者の発生 ○津波による被害者発生(避難時等の人的被害、行方不明者)	自身の安全確保(安全確認・安否確認) 家族の安否確認 倒壊家屋からの救助活動(地域) 消防署、警察、自衛隊の連携した救助、救出活動 顧客・社員の安全確保(安全確認、緊急避難) 社員及びその家族の安否確認	
ライフライン被害	ライフラインの被害想定 上水道(断水人口) :226,000人(23%) 下水道(機能支障人口) :11,000人(2%) 電力(停電軒数) :88,000軒(15%) 通信(不通回線数) :30,000回線(12%) 都市ガス(供給停止戸数) :13,000戸(16%)	○震度6弱以上の地域全域が停電 ○ガス供給停止、水道断水 ○下水道施設の処理が困難 ○震度6弱以上の多くのエリアで固定電話、携帯電話の利用困難 ○津波浸水エリアでは施設の損壊や倒壊により利用困難	公共機関及び医療機関における自家発電の稼働	○
交通施設被害	交通施設被害 道路(緊急輸送道路) :380箇所 鉄道:240箇所	○高速道路では道路施設被害等による通行困難 ○公共交通機関停止による帰宅困難者発生 ○点検のための交通規制、道路への建物倒壊等により通行困難 ・駅前、バス停等に帰宅困難者集結 ○中山間部で地すべりや斜面崩壊により通行機能障害が発生 ○建物倒壊などによる道路閉塞発生 ○鉄道施設の被害、地震による点検などにより不通となる箇所あり ○港湾施設の点検 ○港湾施設の機能停止 ○津波により浸水した道路が通行困難 ○津波により港湾施設が破損し機能停止	警察、道路管理者と連携した状況把握 緊急輸送道路の啓開、確保(道路障害物の除去等) 交通規制等による緊急輸送道路通行の確保 直轄国道、高速	○

項目	被害想定	地震発生	～半日	～1日
生活への影響	避難人口 59,000人	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営委員の被災 ○サービスステーション(SS)、タンクローリーの被害 ○避難者が避難所に到着 ○病院でのトリアージ医療 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定避難所以外への避難による混乱 ○屋外避難の発生(グラウンド、自動車) ○軽傷～重傷者が病院に集中 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の避難スペース不足 ○スーパー、コンビニでの物資不足
棄物等廃	災害廃棄物 47,000トン 津波堆積物 427,000～684,000トン	○家屋倒壊等に伴う災害廃棄物発生		
その他の被害	エレベータの停止 1,200棟数 危険物 破損等 60箇所	<ul style="list-style-type: none"> ○エレベータ停止に伴う閉じ込め者の発生 ○長周期地震動の発生 ・建物被害の発生 ・屋内収容物転倒・落下等による二次被害発生 ○建物被害による道路閉塞により緊急車両の通行不能 ○避難行動要支援者等のほう助 ○施設等のダメージによる公共交通機関の機能停止 	○危険物施設等のタンク等からの石油流出 ・石油流出による火災発生	

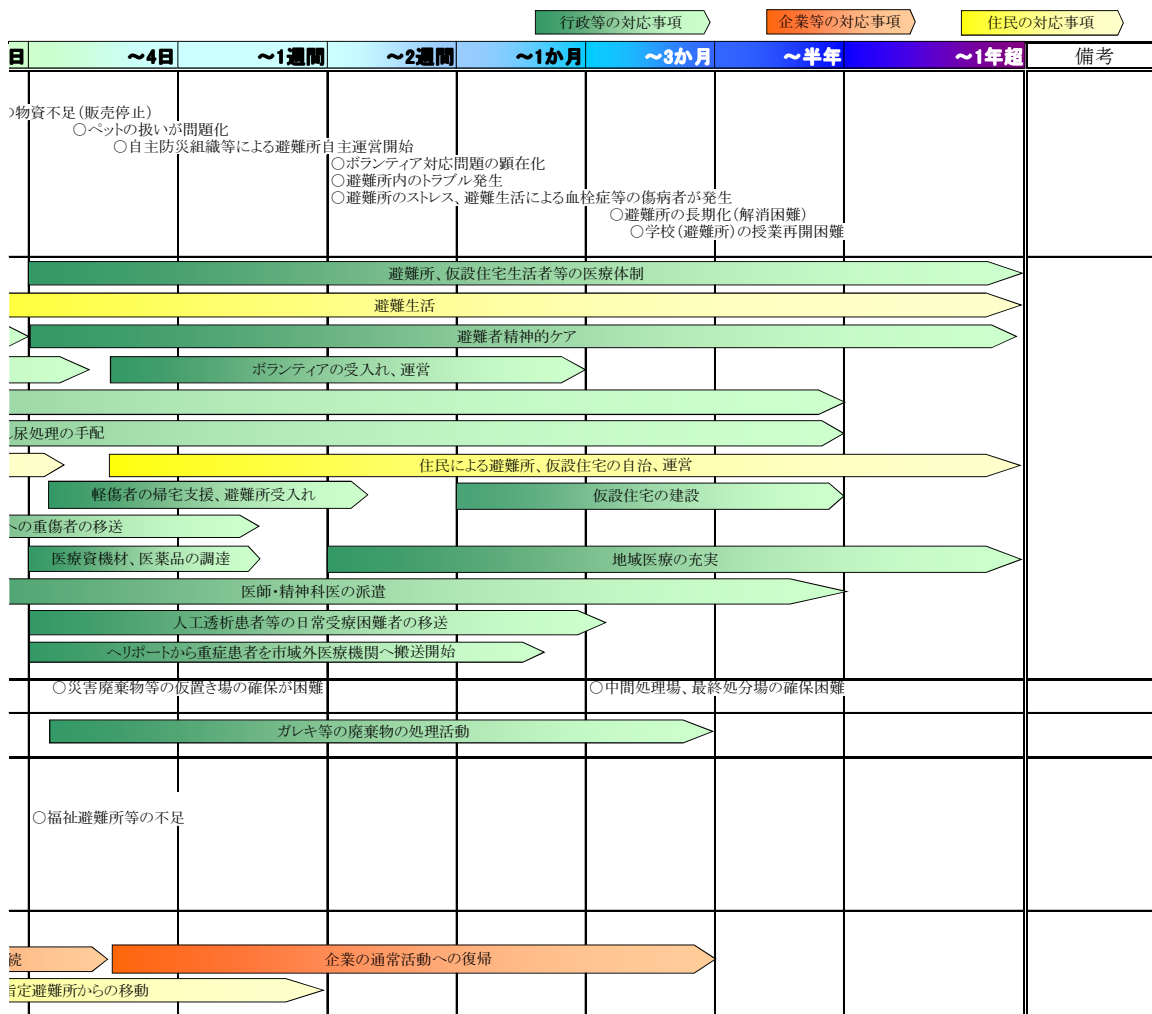


図 3.2.2 南海トラフの発生頻度の高い地震による被害シナリオ要約版 (2/2)

3.3 中央構造線で発生する地震

項目	被害想定	地震発生	～半日	～1日
災害	地震の想定 震度:3~7	(地震動) ○県全域で震度3~7の強い揺れが発生 (液状化) ○海岸域の埋立地で顕著であり、山地の河川沿い等の沖積地や河川等の埋立地などでも発生する区域が存在 (その他) ○地震が発生することにより、以下の事象が発生する恐れあり ・急傾斜地の崩壊や地すべりの発生		
建物被害	建物被害の想定 全壊:30,000棟(合計) 揺れ:21,000棟 液状化:3,000棟 急傾斜地:110棟 地震火災:5,700棟	○耐震性の低い古い建物を中心に全壊 ○液状化により建物が沈下、傾斜被害を受け継続的な居住や日常生活が困難 ○木造住宅が密集している地域を中心に地震火災が同時多発し延焼火災を含む大規模な火災により焼失する		
人的被害	人的被害の想定 死者:1,400人 負傷者:12,000人 自力脱出困難者:4,400人	○耐震性の低い木造建物を中心に、揺れによる建物倒壊により死者が発生 ○急傾斜地崩壊や地滑りにより生き埋め等による死傷者が発生 ○出火家屋からの逃げ遅れ、家屋内の閉じ込め等により死者が発生 ○その他、以下の理由により死傷者が発生する可能性あり ・屋外転倒物や屋外落下物 ・屋内において、固定していない家具の移動や転倒等 ○倒壊建物等への閉じ込めによる要救助者の発生		
ライフライン被害	ライフラインの被害想定 上水道(断水人口) :622,000人(63%) 下水道(機能障害人口) :30,000人(6%) 電力(停電軒数):486,000軒 :82% 通信(不通回線数) :187,000回線(76%) 都市ガス(供給停止戸数) :69,000戸(82%)	○震度6弱以上の地域全域が停電 ○ガス供給停止、水道断水 ○下水道施設の処理が困難 ○震度6弱以上の多くのエリアで固定電話、携帯電話の利用困難	○非常用発電機の燃料切れによる通信機能停止	
交通施設被害	交通施設被害 道路(緊急輸送道路) :540箇所 鉄道:450箇所 港湾(防災機能強化港) :10箇所	○高速道路では道路施設被害等による通行困難 ○公共交通機関停止による帰宅困難者発生 ○点検のための交通規制、道路への建物倒壊等により通行困難 ・駅前、バス停等に帰宅困難者集結 ○中山間部で地すべりや斜面崩壊により通行機能障害が発生 ○建物倒壊などによる道路閉塞発生 ○鉄道施設の被害、地震による点検などにより不通となる箇所あり ○港湾施設の機能停止		



図 3.3.1 中央構造線で発生する地震による被害シナリオ要約版 (1/2)

項目	被害想定	地震発生	～半日	～1日
生活への影響	避難人口 45,000人	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営要員の被災 ○避難者が避難所に到着 ○サービスステーション(SS)、タンクローリーの被害 ○医療機関の機能が低下 ○医師、看護師の不足で診察機能が低下 ○病院でのトリアージ医療 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定避難所以外への避難による混乱 ○屋外避難の発生(グラウンド、自動車) ○軽傷～重傷者が病院に集中 	<ul style="list-style-type: none"> ○帰宅困難者が避難所に避難 ○避難所の避難スペース不足 ○医師・検死医が不足し、身元不明者発生 ○スーパー、コンビニでの物資不足
災害廃棄物等	災害廃棄物 968,000トン	○家屋倒壊等に伴う災害廃棄物発生		
その他の被害	エレベータの停止 1,200棟数 危険物 流出 10箇所 破損等 100箇所	<ul style="list-style-type: none"> ○エレベータ停止に伴う閉じ込め者の発生 ○長周期地震動の発生 ・建物被害の発生 ・屋内収容物転倒・落下等による二次被害発生 ○建物被害による道路閉塞により緊急車両の通行不能 ○避難行動要支援者等のほう助 ○施設等のダメージによる公共交通機関の機能停止 	<ul style="list-style-type: none"> ○危険物施設等のタンク等からの石油流出 ・石油流出による火災発生 	

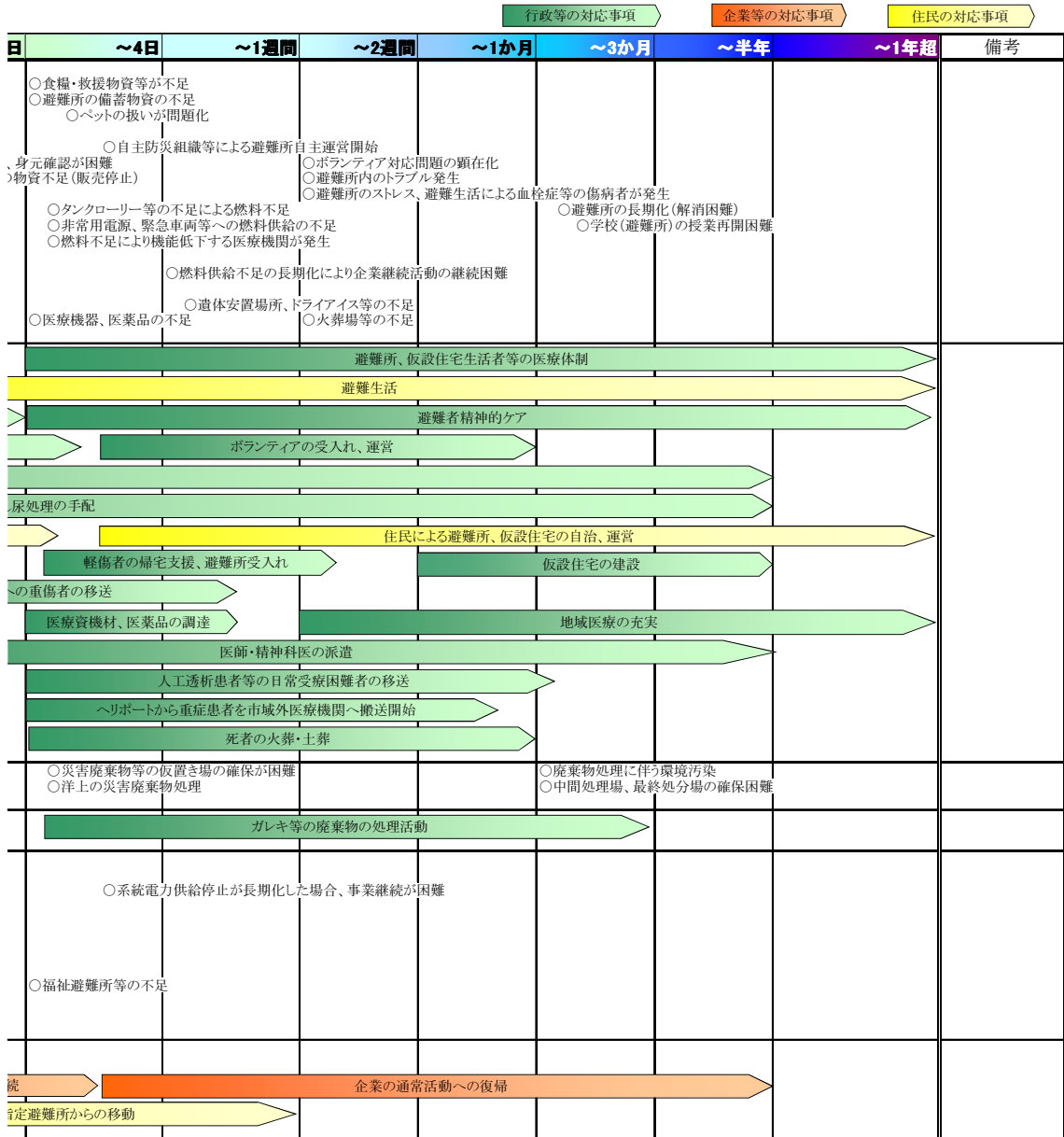


図 3.3.2 中央構造線で発生する地震による被害シナリオ要約版 (2/2)

3.4 長尾断層で発生する地震

項目	被害想定	地震発生	～半日	～1日
災害 地震	地震の想定 震度:3～6強	(地震動) ○県全域で震度3～6強の強い揺れが発生 (液状化) ○海岸域の埋立地で顕著であり、山地の河川沿い等の沖積地や河川等の埋立地などでも発生する区域が存在 (その他) ○地震が発生することにより、以下の事象が発生する恐れあり ・急傾斜地の崩壊や地すべりの発生		
建物被害	建物被害の想定 全壊:2,000棟(合計) 揺れ:660棟 液状化:1,300棟 急傾斜地:20棟	○震度6弱以上の揺れが発生する地域の耐震性の低い古い建物を中心に全壊 ○液状化により建物が沈下、傾斜被害を受け継続的な居住や日常生活が困難 ○地震火災に伴う被害が発生する恐れあり		
人的被害	人的被害の想定 死者:40人 負傷者:1,300人 自力脱出困難者:160人	○耐震性の低い木造建物を中心に、揺れによる建物倒壊により死者が発生 ○急傾斜地崩壊や地滑りにより生き埋め等による死傷者が発生 ○出火家屋からの逃げ遅れ、家屋内の閉じ込め等により死者が発生 ○その他、以下の理由により死傷者が発生する可能性あり ・屋外転倒物や屋外落下物 ・屋内において、固定していない家具の移動や転倒等 ○倒壊建物等への閉じ込めによる要救助者の発生		
ライフライン被害	ライフラインの被害想定 上水道(断水人口) :205,000人(21%) 下水道(機能支障人口) :12,000人(2%) 電力(停電軒数):153,000軒 :26% 通信(不通回線数) :51,000回線(21%) 都市ガス(供給停止戸数) :29,000戸(34%)	○震度6弱以上の地域全域が停電 ○ガス供給停止、水道断水 ○下水道施設の処理が困難 ○震度6弱以上の多くのエリアで固定電話、携帯電話の利用困難		○
交通施設被害	交通施設被害 道路(緊急輸送道路) :300箇所 鉄道:190箇所	○高速道路では道路施設被害等による通行困難 ○点検のための交通規制、道路への建物倒壊等により通行困難 ○中山間部で地すべりや斜面崩壊により通行機能障害が発生 ○建物倒壊などによる道路閉塞発生 ○鉄道施設の被害、地震による点検などにより不通となる箇所あり ○港湾施設の点検		○
				交 直轄国道、高速

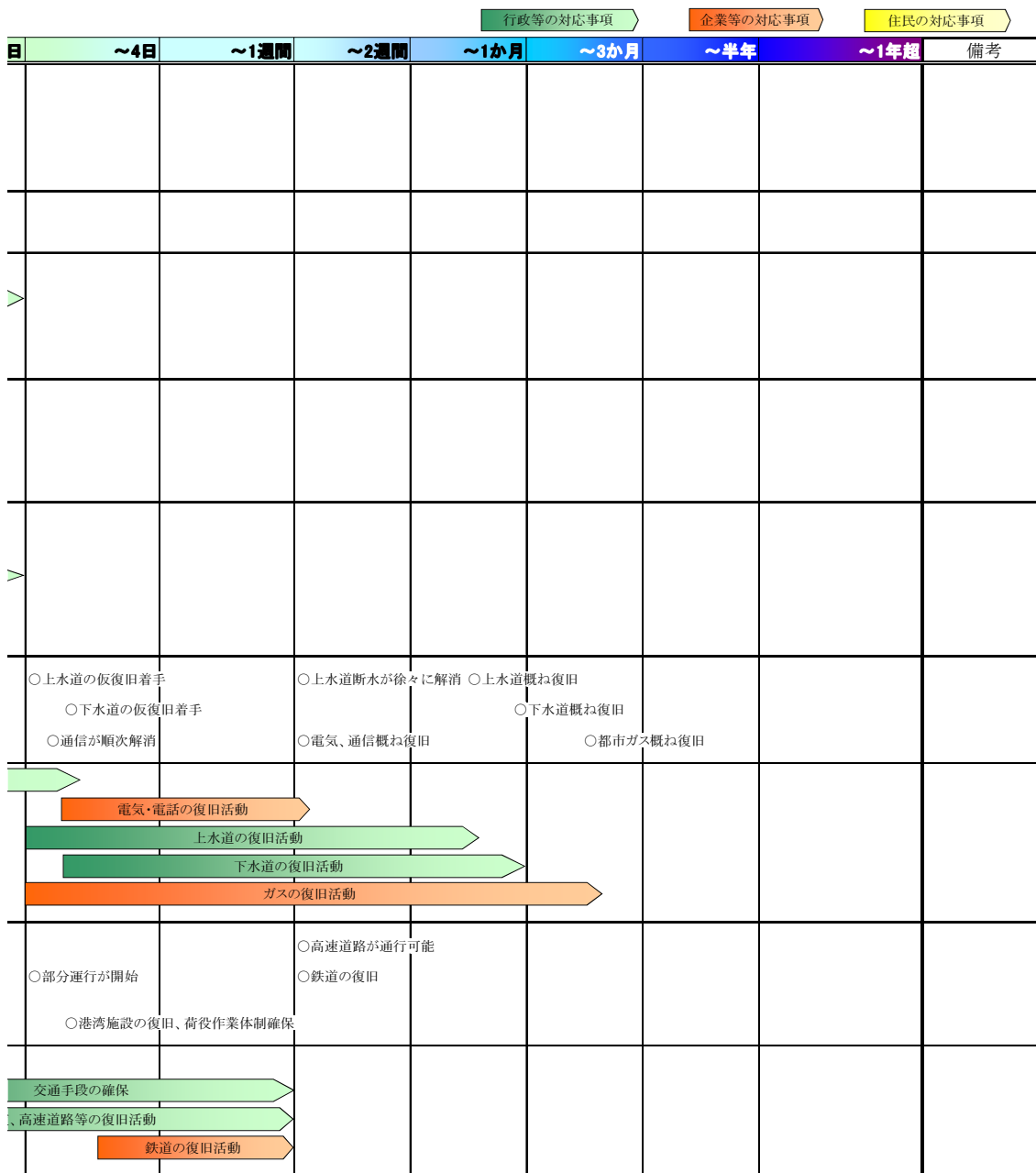


図 3.4.1 長尾断層で発生する地震による被害シナリオ要約版 (1/2)

項目	被害想定	地震発生	～半日	～1日
生活への影響	避難人口 4,000人	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営要員の被災 ○避難者が避難所に到着 ○サービスステーション(SS)、タンクローリーの被害 ○病院でのトリアージ医療 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定避難所以外への避難による混乱 ○屋外避難の発生(グラウンド、自動車) ○軽傷～重傷者が病院に集中 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の避難スペース不足 ○スーパー、コンビニでの物資不足
棄物等廃	災害廃棄物 44,000トン	○家屋倒壊等に伴う災害廃棄物発生		
その他の被害	エレベータの停止 1,200棟数 危険物 破損等 50箇所	<ul style="list-style-type: none"> ○エレベータ停止に伴う閉じ込め等の発生 ○長周期地震動の発生 <ul style="list-style-type: none"> ・建物被害の発生 ・屋内収容物転倒・落下等による二次被害発生 ○建物被害による道路閉塞により緊急車両の通行不能 ○避難行動要支援者等のほう助 ○施設等のダメージによる公共交通機関の機能停止 	<ul style="list-style-type: none"> ○危険物施設等のタンク等からの石油流出 ・石油流出による火災発生 	

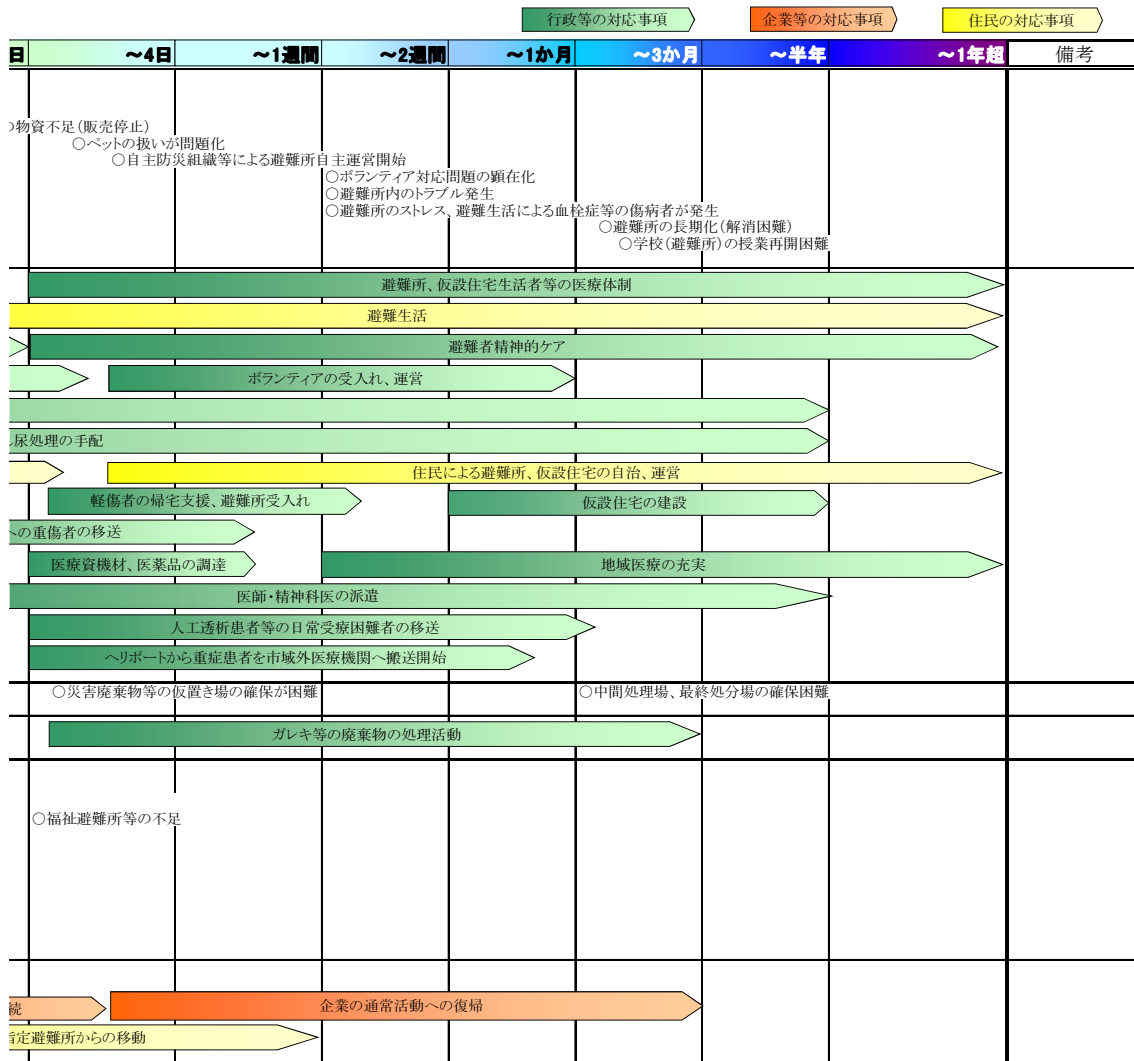


図 3.4.2 長尾断層で発生する地震による被害シナリオ要約版 (2/2)